

2021年5月19日

各位

株式会社クシム  
(東証第二部：2345)

### クシムソフト島根事業所開発センターにて島根県大田市教育委員会より 「2021年度GIGAスクールサポーター配置事業」を受託

株式会社クシム（本社：東京都港区、代表取締役社長：中川博貴、以下「クシム」）の連結子会社である株式会社クシムソフト（本社：東京都港区、代表取締役社長：中川博貴、以下「クシムソフト」）は、2019年7月より島根県大田市において島根事業所開発センター（以下「島根事業所」）を開所しております。この度、島根事業所におきまして、島根県大田市教育委員会より「2021年度GIGAスクールサポーター配置事業」を受託いたしました。

クシムソフトは昨年2020年度に島根県大田市教育委員会より「GIGAスクールサポーター配置事業」を受注し、市内の全22校（小学校16校、中学校6校）への情報通信に関する環境整備や情報機器の手配に対し、専門的観点からのサポートを行うことでその課題解決をいたしました。これは、文部科学省が打ち出したGIGAスクール構想（2019年12月公表）に対して文部科学省が推奨する「GIGAスクールサポーター」の配置を島根県大田市教育委員会が意思決定し、クシムソフトがその事業者として委託を受け実施した結果となります。なお、市内全22校には2020年度終了時（2021年3月末日）には、全情報通信環境、全児童生徒と教職員向けの情報機器は完備され、クシムソフトによる2020年度の「GIGAスクールサポーター」としての業務は滞りなく完了しています。

今回、島根県大田市教育委員会にて実運用においての課題が整理され、その中で昨年2020年度と同様に専門的観点からのサポートが必要との意思決定がされたことで、クシムソフト島根事業所にて引き続き「GIGAスクールサポーター」として市内全22校の実運用面での支援の委託を受けることになりました。

具体的には以下の支援を中心に事業を展開いたします。

- ・校内情報通信ネットワークに対する不具合調査や復旧に関する支援
- ・情報機器に対する不具合調査や復旧に関する支援
- ・教職員・児童生徒へ機器・アプリケーション等の使用方法に関する支援
- ・教職員に対する実運用でのスキルのバラツキ発生時の特別研修の提案と実施
- ・導入アプリケーションに対しての実運用時の利用改善等に対する助言

2020年度対応の延長として実運用を具体的に支援することが主な事業となりますが、島根事業所では電話受けによるヘルプデスクや学校訪問を繰り返すことで、教職員や児童生徒の不安を一つ一つ解消し、クシム

ソフトの最大の強みである柔軟性と、さらには地元採用によるエンジニア社員たちの活躍により、地域密着、人と人の繋がりをこれまで以上に IT を用いて拡大してまいります。

「GIGA スクールサポーター」を中心に、島根事業所における地域活性の成果は年々拡大しており、社会的影響力のある拠点としてこれからも貢献を図ってまいります。今後ともクシム及びクシムソフトのこれからの取り組みにご期待ください。

▶ GIGA スクール構想とは・・・GIGA : Global and Innovation Gateway for All の略

文部科学省が打ち出す、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画。大きくは「校内LANの整備」「学習者用PCの導入」「学習ツールと校務のクラウド化」「ICTの活用」に分かれており、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

【当件の問い合わせ先】

株式会社クシムソフト 島根事業所開発センター  
GIGA スクールサポーター配置事業 担当：安原  
03-6826-1235（東京本社）

